

# 第25回 日・韓 建設技術セミナー 開催報告



**丸山 大輔**  
道路政策グループ  
上席主任研究員



**福田 健**  
技術・調達政策グループ  
上席主任研究員

## 1 はじめに

JICEは、日本と韓国の建設技術の交流及び発展を図り、さらには両国の友好と親善に寄与するため、建設技術の調査研究・普及を通じて社会資本整備に貢献するといった共通の目的を持つ韓国建設技術研究院（以下「KICT」という。）と建設技術交流を実施しており、この建設技術交流の一環として1990年から毎年継続して日・韓建設技術セミナーを開催しており、今年で25回目の開催となります。

## 2 セミナーの概要

25回目となるセミナーは、去る平成26年9月2日（火）に韓国京畿道高陽市にあるKICT新館1階のカンファレンスルームにて開催されました。JICEからは、谷口博昭理事長を団長とする総勢12名が参加しました。

表1 JICEからの参加者

団長	谷口 博昭	理事長
団員	佐藤 俊通	情報・企画部長
//	湧川 勝己	情報・企画部次長
//	三戸 雅文	河川政策グループ副総括
//	田村 善昭	河川政策グループ上席主任研究員
//	井上 純三	道路政策グループ総括
//	秋山 聡	道路政策グループ主任研究員
//	鈴木 圭一	都市・住宅・地域政策グループ主任研究員
//	渡邊 三男	技術・調達政策グループ副総括
//	徳橋 良幸	技術・調達政策グループ上席主任研究員
//	丸山 大輔	道路政策グループ上席主任研究員
//	福田 健	技術・調達政策グループ上席主任研究員

表2 第25回 日・韓建設技術セミナー プログラム

<p><b>&lt;開会式&gt;</b> 開会の挨拶 李 泰 植 KICT 院長 祝 辞 谷口 博昭 JICE 理事長</p>
<p><b>&lt;特別講演&gt;</b> 演 題：国土の未来と国土政策 講演者：金 京 煥 国土研究院 国土研究院長</p>
<p><b>&lt;パネルディスカッション&gt;</b> <b>I. 河川セッション</b> (座長：金 源 KICT 河川海岸研究室長) 発表 1 ダム建設による河川変化のモニタリングと維持管理 - 李 瓊 柱 KICT 河川海岸研究室 首席研究員 発表 2 PDCAサイクル型河川維持管理 - 田村 善昭 JICE 河川政策グループ 上席主任研究員 パネル討論及び質疑応答 - 安 洪 奎 KICT 河川海岸研究室 研究委員 - 三戸 雅文 JICE 河川政策グループ 副総括 <b>II. 道路セッション</b> (座長：姜 元 義 KICT 道路交通研究室 前任研究委員) 発表 1 道路休憩所の設置と活用の効果 - 魯 官 燮 KICT 道路交通研究室 前任研究委員 発表 2 日本における「道の駅」とその役割 - 秋山 聡 JICE 道路政策グループ 主任研究員 パネル討論及び質疑応答 - 金 鍾 昱 KICT 道路交通研究室 首席研究員 - 井上 純三 JICE 道路政策グループ 総括 <b>III. 都市・住宅・地域セッション</b> (座長：劉 永 燦 KICT 公共建築研究本部長) 発表 1 韓国におけるリモデリングの現況及び制度 - 金 洙 岩 KICT 未来建築研究室 前任研究委員 発表 2 日本における建築物のリノベーション - 鈴木 圭一 JICE 都市・住宅・地域政策グループ 主任研究員 質疑応答 <b>IV. 技術・調達セッション</b> (座長：李 裕 涉 KICT 建設管理・経済研究室 前任研究委員) 発表 1 予定価格の作成基準及びその機能をめぐる論点 - 姜 兌 兪 KICT 建設管理・経済研究室長 発表 2 日本における低価格入札対策について - 徳橋 良幸 JICE 技術・調達政策グループ 上席主任研究員 パネル討論及び質疑応答 - 姜 兌 兪 KICT 建設管理・経済研究室長 - 渡邊 三男 JICE 技術・調達政策グループ 研究主幹</p>
<p><b>&lt;閉会&gt;</b></p>



写真-1 谷口理事長による祝辞



写真-2 セミナー会場内

維持管理目標に照らした実施内容の評価、③維持管理の基礎的な作業となる巡視等の実践ツール（出水時巡視ハンドブック、地域住民が安全に点検を行うための「堤防点検の手引き」）の概要、④河川の持つ復元力に配慮した河川管理の取組み（河道内樹木の管理や礫河原の再生等）について報告された。

討論では主に日本のPDCAサイクル的な河川管理について、土砂除去、樹木伐採、保護種の管理の運営等について議論された。



写真-3 河川セッションでの討論

### 3 各発表の要旨

#### 3.1 河川セッション

##### 発表1 ダム建設による河川変化のモニタリングと維持管理 (KICT)

乃城（ネソン）川<sup>\*</sup>は、山地を流下する砂質の河川として、独特の自然と歴史文化的景観を保持している。しかし、榮州（ヨンジュ）多目的ダムの建設（2014年完成予定）により、下流域での河川の変化が予想される。

本セッションでは、河川の砂州や植生の変化をモニタリングした現場調査結果を紹介するとともに、この流域の流砂モデルを用いて、ダムの建設による流砂の変化を評価し、河床低下や樹林化の進行等の河川の変化を最小限に抑えることができる管理方法について報告された。

※洛東江（ナクトンガン）の支流のひとつ。慶尚北道奉化郡ムルヤミョンから始まり奉化・永住・安東などの地を経て、洛東江に入る。延長101.8km。

##### 発表2 PDCAサイクル型河川維持管理 (JICE)

わが国では、2011年5月に策定された河川砂防技術基準維持管理編（河川編）に基づき、PDCAサイクル型河川維持管理が推進されている。

本セッションでは、PDCAサイクル型河川維持管理の効果的かつ効率的な運用と河川巡視の充実を目指す阿賀川を事例として、①PDCAサイクル型維持管理の構築の取組み、②

#### 3.2 道路セッション

##### 発表1 道路休憩所の設置と活用の効果 (KICT)

韓国では経済成長に伴う生活水準の向上により、旅行やレジャー目的の交通需要が増加し、休憩所の需要も増加傾向にある。休憩所は、道路利用の利便性と快適性を提供し、特に過労や居眠り運転防止により安全性を向上させる主要施設である。

本セッションでは、韓国で最近行われている休憩所の設置と景観を考慮した休憩所計画について報告された。

##### 発表2 日本における「道の駅」とその役割 (JICE)

「道の駅」は道路利用者の休憩、情報提供、地域連携の場として制度発足から20年が経過し、全国1030箇所に設置されている。

本セッションでは、近年、災害発生時の防災拠点など地域の課題を解決する場として、新たな活用が広がりつつある「道の駅」の現状、役割等について報告された。

討論では主に日本の道の駅について、民間施設との競合の問題とその対応や道の駅の成功の秘訣等について議論された。



写真-4 道路セッションでの討論

### 3.3 都市・住宅・地域セッション

#### 発表1 韓国におけるリモデリングの現況及び制度 (KICT)

日本の大修繕に対して、韓国は大修繕ではなく、共同住宅リフォーム（特に面積の増築、世帯増加型）の様々な試みがなされており、これを支援するための法律が整備されている。

本セッションでは、最近垂直の増築が課題となり様々な方向から検討されている内容を中心に報告された。

#### 発表2 日本における建築物のリノベーション (JICE)

日本では築年数が40年を超える大規模団地が増加している。また、高齢化や人口減少などの影響から全国的に空き家、空き店舗等が発生している。

本セッションでは、これらの建築物の再生（リノベーション）に向けた技術や活用方策についての現状や課題について報告された。

韓国では建物を改修する際、増築して床面積を増やす傾向にあるが、日本では、減築している事例が紹介され、両国の違いについて把握された。



写真-5 都市・住宅・地域セッションでの質疑

### 3.4 技術・調達セッション

#### 発表1 予定価格の作成基準及びその機能をめぐる論点 (KICT)

本セッションでは、公共建設工事予定価格の作成の基礎資料として活用されている取引実例価格、原価計算による価格、実績工事費（日本のUnit Price、施工Package単価に相当）、見積もり価格等の動向や落札者の決定及び契約履行において予定価格と予定価格単価の機能等に関する最近の問題等について報告された。

#### 発表2 日本における低価格入札対策について (JICE)

土木工事やその調査設計業務におけるダンピングは日本でもかねてから問題となっており、様々な対策がとられてきた。

日本では落札率を固定して制限するのではなく、直轄工事においては調査基準価格を設定しているが、国と自治体、工事と業務で法体系や設定の仕方が異なっている。

本セッションでは、現在、日本で行われている主な低入札対策とこれまでの経緯を紹介するとともに、現在の課題と今

後の方向性について報告された。

討論では主に予定価格の算出手法について、日韓双方に大きな違いは無いが、予定価格について、韓国では業界の言いなりとの批判もあり、更なる厳格化に向けての検討を、日本では、標準的積算に基づく予定価格に幅を持たせて設定する方向の検討など日韓双方の課題や検討の方向性について議論された。



写真-6 技術・調達セッションでの討論

## 4 おわりに

セミナー中はもとより、セミナー終了後もKICTの担当者との活発な意見交換が行われ、第25回セミナーを成功裡に終わらせることが出来ました。今回のセミナーの開催準備等にご尽力いただいた皆様へ感謝申し上げます。



写真-7 集合写真